

2016年2月15日

AGC旭硝子、インドネシアのアサヒマス・ケミカル社増強設備の初出荷式を開催

AGC旭硝子（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は2月12日、インドネシアの当社子会社アサヒマス・ケミカル社（以下、ASC社）のアニール工場（バンテン州）にて、同工場の増強工事に伴う初出荷式を実施しました。本式典は、インドネシア投資調整庁主催の「輸出拡大と輸入代替投資促進プログラム」イベントの一環で開催されたものです。フランキー・シバラニ インドネシア投資調整庁長官、サレ・フシン工業大臣をはじめとする政府関係者など約370名の列席の下、同工場増強設備からの初出荷式、及び同工場内に建設予定の自家発電施設の定礎式を執り行いました。



ASC社は、東南アジア地域における苛性ソーダや塩化ビニル樹脂(PVC)などの基礎化学製品の需要拡大に対応するため、2013年より設備増設準備を進めてきました。増設工事は予定通り完工し、第1四半期より商業生産を開始する予定です。

東南アジアの苛性ソーダ及びPVCの市場は、年率5%超の成長が見込まれており、その需要の70%を当社がクロール・アルカリ事業の拠点を持つインドネシア、タイ、ベトナムが占めています。AGC旭硝子は、東南アジアの拠点との連携を通じ、旺盛な需要を確実に取り込むことで、“2025年のありたい姿”に向けて着実に前進していきます。

以上

◎本件に関するお問い合わせ先：AGC旭硝子 経営企画部広報・IR室 小林 純一

(担当：玉城、駒崎 TEL：03-3218-5603、E-mail：info-pr@agc.com)

<ご参考>

■アサヒマス・ケミカル社概要

1. 社名 アサヒマス・ケミカル株式会社
2. 代表者 宮崎 淳
3. 所在地 本社：インドネシア・ジャカルタ
工場：インドネシア・バンテン州チレゴン
4. 資本金 84百万ドル
5. 出資比率 AGC 旭硝子 52.5% 三菱商事 11.5%、
現地パートナー (Rodamas 18%、Ableman Finance 18%)
6. 設立 1986年
7. 事業内容 苛性ソーダ、二塩化エチレン (EDC)、塩ビモノマー(VCM)、
塩化ビニル樹脂(PVC)等化学品の製造販売

■東南アジアにおけるクロール・アルカリ事業の事業展開と主要施策

